

心豊かでたくましい児童生徒を育む

小中一貫教育をめざして

# シリーズ えでゆれば

vol.31

## 学校間の連携と交流

4月に開校した小中一貫三戸学園  
三戸小学校・三戸中学校では、1・  
7年生の合同入学式や合同の体育祭  
などの式典・行事のほか、日常的に  
1～9年生までの縦割り清掃が行わ  
れ、小中学生の交流が進められてい  
ます。

また、この二校と三戸学園を構成  
する斗川小学校や、杉沢小中学校と  
の連携や交流も、この半年あまりの  
間に計画的に実施されてきました。  
今回は、学校間の連携や交流につ  
いてお伝えします。

### 小小連携①（三戸小・斗川小）

今年初の試みとして、5年生で  
行っている種差での宿泊学習を合同  
で行いました。

9月17日の出発式から19日の帰校



力を合わせてタイヤチューブと木材で「いかだ」を作りました

式までの2泊3日をとともに過ごす  
は、これまでの1日限りの交流とは  
異なり、一緒に寝泊まりする部屋割  
りを決めたり、ウォークラリー・タ  
イヤチューブいかだづくりなどのゲ  
ループ活動したりする時も、両校の  
子どもが混ざり合って、日ごとにう

ち解け、交流が深まりました。

斗川小の水澤猛瑠くんは「普段は  
離れた場所にある学校で勉強してい  
る人達とでしたが、活動を通して一  
歩一歩仲良くなることができました。  
初めは不安もあったけど、三戸  
学園の仲間と活動し、新しい友だち  
ができ、次第に楽しくなりました。  
また三戸小と交流する機会があると  
思います。その時が楽しみです」と  
感想を述べてくれました。

斗川小5年生担任の長谷川先生  
は「大人数の中でも、積極的に友だ  
ちと関わろうとし、人との触れ合い  
を楽しもうとする様子が見られまし  
た」と、確かな交流の成果を感じた  
そうです。

また、昨年まで斗川小学校へ勤務  
していた三戸小学校の小坂教頭先生  
は「私たち大人の心配をよそに、子  
どもたちはすぐにうち解けていまし  
た。子どもの『友だちづくりの力』っ  
て、すごいですね」と話していました。

### 小小連携②（三戸小・斗川小・杉沢小）

去る7月16日には4年生を対象と  
した「三戸町小学生おはなし会」が  
開催され、こぐま社の関谷編集長に



遺跡発掘現場で出土した縄文時代の土器に触れる子どもたち

よる講話や語り手の茨木啓子さん達  
による読み聞かせ、梅内地区の遺跡  
発掘現場の見学などを行いました。

### 小中連携（小中一貫三戸学園）

9月24日、三戸小学校の体育館で、  
ソプラノ歌手小渡恵利子さんのコン  
サートが行われました。町の小学生  
芸術鑑賞会としての開催ですが、今  
回は7～9年生の中学生も参加し、  
三戸学園（三戸小・斗川小・三戸中）  
の全校児童生徒が13曲の熱唱を鑑賞  
しました。

更には、小渡さんの歌声に合わせて  
「ドレミの歌」を合唱し、三戸学

園のみんなが素晴らしいハーモニーを体育館いっぱい響かせました。

**全町連携（三戸学園・杉沢小中）**

耳鼻科検診で日曜出校となった6月23日、小中一貫三戸学園（三戸小・三戸中）の校舎に町内全ての小中学生が集まり、交流授業が行われ、斗川小、杉沢小中の子どもたちは、三戸小・三戸中の同学年のクラスに分かれ授業に参加しました。

初めは人数の多さに驚き、低学年の一部で泣いてしまった子もいましたが、次第にうち解け一緒にお弁当



榎本優人さんの伴奏で歌う小渡恵利子さん

を広げる頃には笑顔が見られました。小規模の学校ではクラスの男女比に偏りが見られることが多く、参加者からは「自分のクラスでは同性の友だちが少ないが、今日1日でたくさんさんの友だちができた。中学校で一緒に勉強できるのが今から楽しみ」という意見も聞かれました。



音楽の授業で一緒に歌う2年生

**学校以外での交流**

学校以外の場面でも違う小学校に通う子どもとの交流が行われています。広報9月号で紹介した「子ども会わくわくキャンプ」には、三戸小22

名、斗川小5名が参加しました。参加者からは「知っている人だけでなく知らない人からも話しかけられ、友だちができて良かった」「初めて会った人と、すぐに友だちになれた」などの感想が聞かれました。



子ども会わくわくキャンプで炊事する子どもたち

お伝えしてきたように、今年度は昨年までの行事を大幅に見直し、少子化時代における子ども同士の交流を意識した教育活動が展開されています。

これらの交流により、子どもたちが刻々と変化する社会を「心豊かにたくましく」生きていく資質を身につけることを大いに期待しています。初めての試みも多く、保護者や地域の皆さまからは、様々なご意見を頂戴するかと思いますが、次年度以降のよりよい教育活動の展開に生かして参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

**コミュニティバスの活用**

10月1日からコミュニティバスの運行がスタートし、以前に比べ登下校にバスを利用する子ども数が増えました。これと同時に自家用車による送迎台数も減少傾向にあります。朝の7～8時までの送迎台数を調査したところ、4月に比べて30台ほど減少（晴天時）したことにあわせ、混雑のピークが分散したことに伴い、渋滞は大幅に緩和されました。雨天時や冬期間は台数の増加が予想されますので、引き続き安全管理に努めて参ります。